



ZEN-NOH

食と農を未来へつなぐ。

茨城県 本部の すがた

2025 事業案内

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋** になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA全農いばらき

取り組みます！

生産者所得の
増大に向けた
生産基盤の確立

食農
バリューチェーン
の構築

環境調和型農業

付加価値向上
につながる
販路拡大

適正価格形成
に向けた
理解醸成活動

2

組織概要

- 名 称／全国農業協同組合連合会茨城県本部
(JA全農いばらき)
- 設 立／平成14年4月1日
- 会員数／23会員(県域)
- 出資金／33億6,750万円(県域)
- 職員数／320名(令和7年4月1日現在 嘱託を含む)
- 取扱高／令和6年度実績 1,945億円
(購買515億円・販売1,431億円)
令和7年度計画 1,752億円
(購買520億円・販売1,232億円)

沿革

- 昭和 5年 茨城県購買組合連合会設立
- 昭和14年 県信連と合併し、
茨城県信用販売購買利用組合連合会設立
- 昭和18年 農業団体法制定により、茨城県農業会に改組
- 昭和23年 戦後の組織再編により、
茨城県販売農業協同組合連合会(茨城県販売連)と
茨城県購買農業協同組合連合会(茨城県購買連)に
分離
- 昭和27年 茨城県購買連と茨城県販売連が合併し、
茨城県経済農業協同組合連合会
(茨城県経済連)設立
- 平成 4年 農協の愛称「JA」及び新農協マーク
(JAマーク)の使用開始
- 平成14年 全国農業協同組合連合会と合併

事業概要

全農茨城県本部の取扱いは、茨城県の農家組合員が生産する米・青果物・牛・豚・その他農畜産物の販売と関連する生産資材や生活用品の供給など多岐にわたっています。全農茨城県本部の事業は、主に販売事業と購買事業、営農指導事業に分類できます。

【販売事業】

県内JAが取り扱う米・青果物・食肉など畜産物を、市場や消費者へ販売する事業です。

【購買事業】

農畜産物の出荷に必要な資材、生産に必要な肥料・農薬、生産資材、農業機械、日常生活に必要な商品・サービスなどを供給する事業です。

【営農指導事業】

県域営農支援センター(JA茨城県中央会)と農機営農支援部が連携し、「食の安全・安心」対策や担い手支援などをおこなっています。



JAグループのしくみ

代表・総合調整・経営相談事業

JAグループの意見を代表・総合調整し、組織、事業および経営に関する相談に応じる。

共済事業

生命共済、損害共済、年金共済を扱い、組合員の生活を保障する役割を担う。



経済事業

組合員の生産した農畜産物を消費者に届ける「農畜産物販売事業」と組合員に必要な資材を供給する「生産資材購買事業」を行う。

信用事業

組合員の貯金を原資に、組合員に対する各種金融サービスを行う。

その他の事業

厚生事業、新聞情報事業、出版・文化事業、旅行事業を行う。
(日本農業新聞・家の光協会・農協観光・JA全厚連・JA厚生連)

JA全農とは

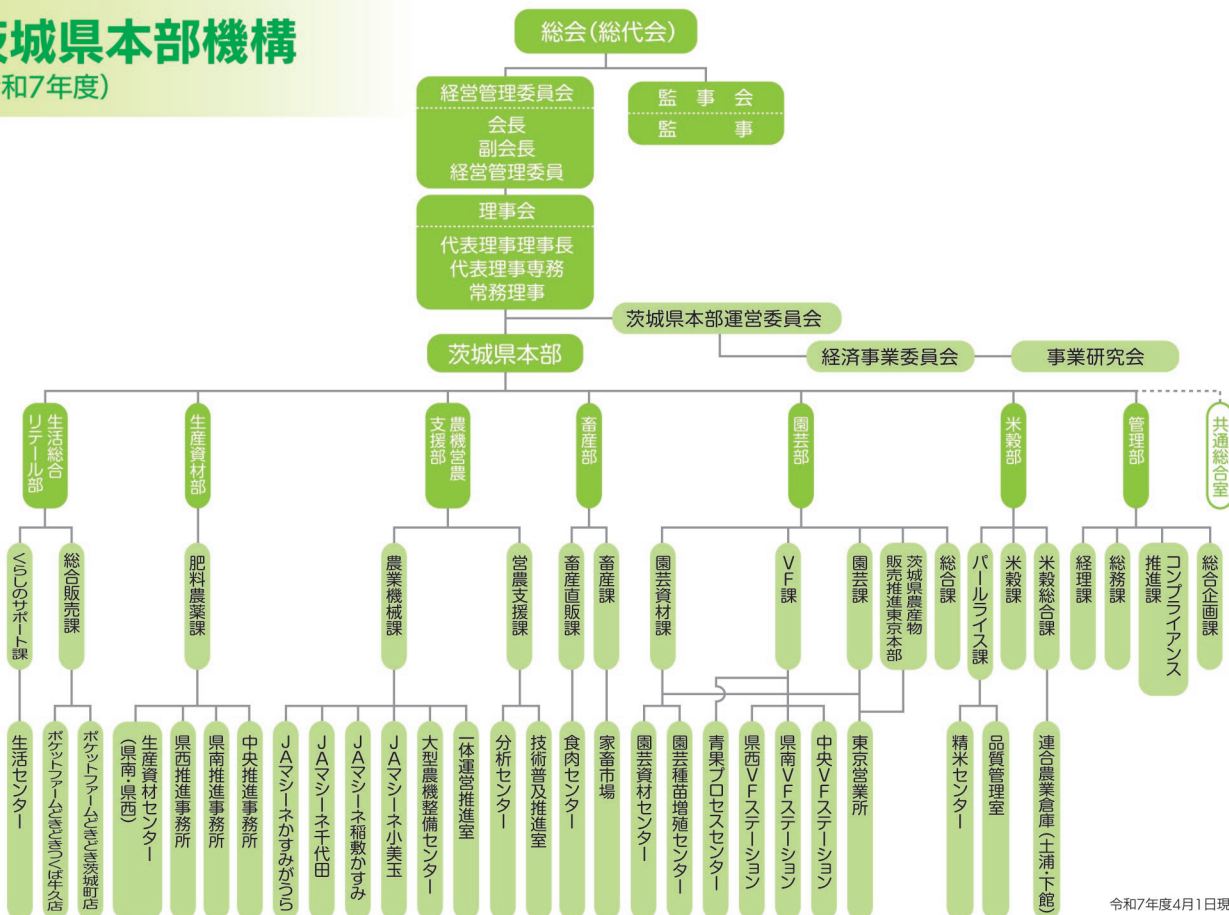
全農はJAグループの中で、農畜産物の販売や生産資材の供給といった経済事業を担う組織です。全農の役割は、生産者の営農とくらしを支援し、農業と地域の活性化を図るとともに、安全・安心な農畜産物を消費者に安定的に供給することです。会員であるJAや県連合会と協同してスケールメリットを生かした競争力ある事業活動によって、その役割を追及しています。

生産者と消費者を安心で結ぶ架け橋



茨城県本部機構

(令和7年度)



令和7年度4月1日現在

部門紹介

米穀事業

需要に基づく作付提案や契約栽培、水田活用米穀などの取り組みにより、生産から集荷、販売まで一貫した事業運営を進めています。

主な取扱い品目

米・麦・大豆・農産種子・
袋資材



茨城のお米



パールライス



イベントで県産米をPR

園芸・ 園芸資材 事業

JAグループ茨城として、生産振興と産地基盤の維持・拡大により生産者の所得確保を進めるとともに、環境負荷軽減資材等の提供により持続可能な農業に取り組んでいます。

主な取扱い品目

青果物・花き・園芸資材・包装資材・
園芸種苗・種馬鈴薯・椎茸資材



Amore



東京都の大田市場でトップセールス

畜産事業

生産から販売まで一貫した取り組みにより、常陸牛やローズポークの生産基盤強化、ならびに食肉販売の新たなバリューチェーンを構築し、生産者の所得増大を図っています。

主な取扱い品目

素畜(牛・豚)・肉牛・肉豚・
市場(子牛)・精肉・加工品



常陸牛



ローズポーク



高品質な和子牛の哺育

農機営農 支援事業

資材価格の低減・生産性向上・農作業の効率化に向けた省力・低コスト技術の普及や、多様な農業者のニーズに合わせた技術提案に取り組んでいます。

主な取扱い品目

農業機械・部品・土壌分析



農機営農支援事業



低コスト農機の提案

生産資材事業

肥料農薬の銘柄集約や担い手農家への直送、土づくりの実践によるコスト低減、および持続可能な物流体制の構築に取り組んでいます。

主な取扱い品目

肥料・農薬



生産資材事業



職員による試験ほ場巡回

総合リテール事業

県本部の総合販売窓口として、eコマース事業や魅力ある地域産品づくり、「ポケットファームどきどき」2店舗の運営を通じた県産農畜産物の販売拡大に取り組んでいます。

主な取扱い品目

青果物・精肉・加工品



JAタウン



ポケットファームどきどき



生産者と消費者を結ぶ直売所運営

生活関連事業

生活用品や食品の供給、葬祭事業などの幅広い事業展開により、組合員・地域住民が安心して営農・生活できる地域の暮らし支援に取り組んでいます。

主な取扱い品目

生活用品・食品・石油類・石油機器・LPガス・ガス機器・食材・葬祭



ふれあい食材



安全安心な商品を提供

事業管理

事業環境の変化に対応した経営基盤の強化、継続的な事業改革、生産者・消費者を意識した広報活動、子会社を含めたコンプライアンス態勢の強化に取り組んでいます。



全農茨城県本部



「ほなみちゃん」

「ほなみちゃん」はJAグループ茨城の農畜産物が持つイメージ「健やか・明るい・元気・育む」をキーワードに、親しみやすく愛らしいキャラクターとして生まれました。



「いいもの いっぱい いばらき」

JAグループ茨城の青果物出荷箱の統一意匠デザインです。消費者のうれしい笑顔が生産者の笑顔につながって、共に笑顔になれるようにとの願いが込められています。

令和6年度 トピックス

生産者と消費者をつなぐ取り組み

—— 生活総合リテール部 ポケットファームどきどき茨城町店 ——

令和6年11月9日(土)、来場者に地域農業と国産国産運動について、理解を深めてもらうことをテーマに『いいものあっぺ いっぱいあっぺ いばら「季」の味 どきどき収穫祭2024』を開催しました。生産者によるトラック市や模擬店の出店、茨城県出身のミュージシャンによるスペシャルライブ、近隣学校などによる書道・ダンスパフォーマンスなどを行いました。

メインイベントのトラック市では17台の軽トラックに26名の生産者が出店し、自慢の新鮮な野菜や加工品が会場にたくさん並びました。生産者との会話を楽しむお客様やキッズブースで楽しむご家族、ライブやパフォーマンスに感動する姿がみられ、多くの来場者でにぎわいました。



適正価格の理解醸成に向けて

—— 管理部 総合企画課 ——



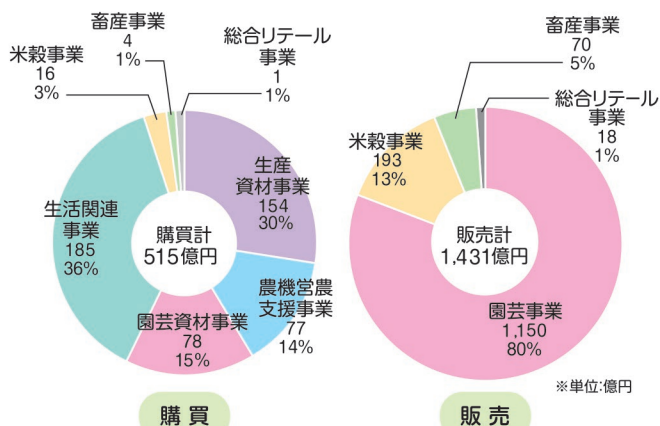
令和6年12月下旬より県産農畜産物の適正価格理解醸成と消費拡大の一環として、茨城空港内吹き抜けロビーに大型フラッグ2枚を設置しました。フラッグのデザインは、全農所属で全農オフィシャルアンバサダーの石川佳純さんが「持続可能な価格とは何か」を問いかける「Think Sustainable Price」と、当県本部直営直売所の「ポケットファームどきどき」と「ふくまる」「常陸牛」などの県産ブランドロゴを組み合わせたもの2種類を製作しました。

資材価格の高騰などにより生産コストが上昇している状況において、県内外の旅行客やビジネスでの利用者が多い茨城空港に大型フラッグを掲示することで、適正価格への理解と消費拡大をPRしています。

事業取扱高の概要

● 事業別取扱高の内訳

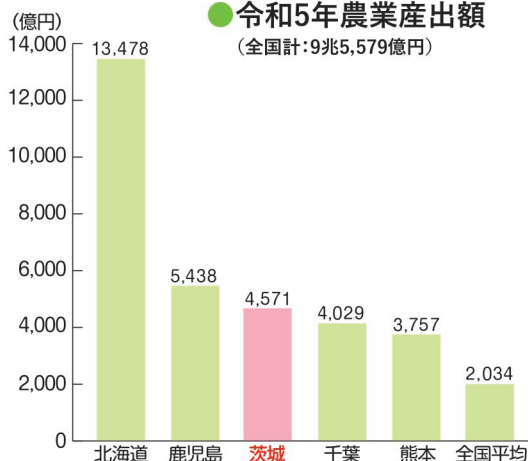
令和6年度実績…合計1,945億円



茨城県農業の概要

● 令和5年農業産出額

(全国計:9兆5,579億円)



資料:農林水産省 令和5年度 農林水産統計より

主な農畜産物の全国に占める位置

品目	1位 れんこん	1位 みずな	1位 はくさい	1位 チンゲンサイ	1位 くり	1位 メロン	1位 こまつな
全国順位							
収穫量(年度) シェア	29,600トン(R5) 52.7%	17,300トン(R5) 47.9%	249,100トン(R5) 29.2%	10,600トン(R5) 27.4%	3,780トン(R6) 27.0%	37,500トン(R5) 25.8%	28,500トン(R5) 23.6%
1位	1位	2位	2位	2位	2位	7位	7位
ピーマン	ねぎ	かんしょ	レタス	日本なし	採卵鶏	豚	米
33,000トン(R5) 22.9%	52,900トン(R5) 12.7%	199,200トン(R6) 27.8%	84,000トン(R5) 15.4%	17,100トン(R6) 9.9%	12,109千羽(R6.2.1) 7.2%	424,000千頭(R6.2.1) 4.8%	338,800トン(R6) 4.6%

資料:農林水産省 農林水産統計より

事業所一覧

米穀部

- ①土浦連合農業倉庫
- ②下館連合農業倉庫
- ③パールライス課・精米センター・品質管理室

畜産部

- ⑨家畜市場 ⑩哺育センター ③食肉センター

農機営農支援

- ⑪農業機械課・営農支援課・技術普及推進室
大型農機整備センター
- ③分析センター
- ⑫大型農機整備センター(県南)
- ⑬JAマシーネ小美玉
- ⑭JAマシーネ稲敷かすみ(稲敷)
- ⑮JAマシーネ稲敷かすみ(かすみ)
- ⑯JAマシーネ千代田
- ⑰JAマシーネかすみがうら

園芸部

- 東京営業所
- ③中央VFステーション・園芸種苗増殖センター
- ④県南VFステーション
- ⑤県西VFステーション
- ⑥青果プロセスセンター
- ⑦園芸資材センター
- ⑧園芸資材センター(つくば)

生産資材部

- ④県南推進事務所
- ⑯県南生産資材センター
- ⑤県西推進事務所・県西生産資材センター

生活総合リテール部

- ⑱ポケットファームどきどき茨城町店
- ⑳ポケットファームどきどきつくば牛久店
- ③生活センター

子会社

茨城協同食肉株式会社

産地食肉処理センターとして、と畜解体処理事業、食肉加工事業、レンダリング事業などを通じて、安全・安心な食肉の供給に取り組んでいます。



公式HP



JA茨城エネルギー株式会社

県内の総合エネルギー会社として、生産者が安心して営農・生活できる地域社会に向けて石油・LPガス・電気の供給に取り組んでいます。



公式HP





お車での アクセス

- JR水戸駅より車で約30分
- JR友部駅より車で約30分
- JR石岡駅より車で約35分
- 常磐自動車道／岩間ICより約15分
- 北関東自動車道／茨城町西ICより約8分

全農

全国農業協同組合連合会 茨城県本部

〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町下土師字高山1950番地1

管理部 総合企画課

TEL.029-219-1113 FAX.029-219-1234

<https://www.zennoh.or.jp/ib/>

E-mail : kikaku@ib.zennoh.or.jp

県本部公式SNS・ホームページ

JAグループ茨城 Amore 茨城の農業情報を発信



Facebook



Instagram



YouTube

ポケットファームどきどき



Facebook



Instagram



Instagram

JA全農いばらき



ホームページ